

『環境関連データ』2016-2020 年度推移



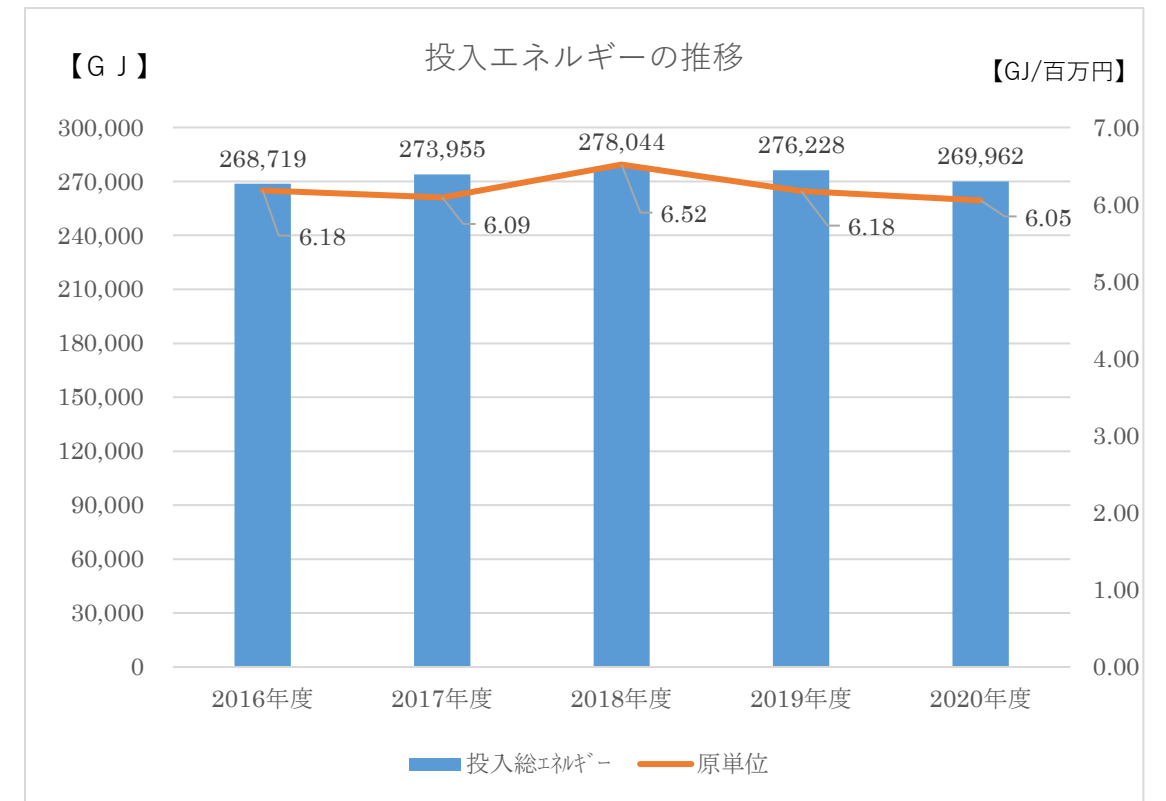
■ CO₂ 排出量

			2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
算定方法			排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)
スコープ 1 + 2			13,386	13,871	13,956	15,031	13,751
スコープ 1	自社での燃料使用に伴う直接排出	自社での燃料使用に伴う直接排出				4,452	4,248
スコープ 2	外部から購入した電力や熱の使用に伴う間接排出	電力や熱の使用に伴う間接排出				10,578	9,503
スコープ 3							
カテゴリ 1	購入した製品・サービス	原材料の年間購入重量より算定				37,472	33,185
カテゴリ 2	資本財	1 年間の設備投資金額に、投資金額当たりの排出原単位を乗じて算出				3,523	12,897
カテゴリ 3	燃料及びエネルギー関連活動	年間でのエネルギー使用量をもとに算定				2,334	2,459
カテゴリ 4	輸送・流通（上流）	製品を出荷する際の輸送に係る排出量を算定 省エネ法の特定荷主の算定方法に基づき算定				7,409	9,796
カテゴリ 5	事業から出る廃棄物	廃棄物を種類別に分類し、廃棄物処理方法の排出原単位を乗じて算出				601	516
カテゴリ 6	出張	従業員数をもとに算定				135	139
カテゴリ 7	従業員の通勤	自動車通勤者：マイカー通勤距離より算出 上記以外：自動車通勤者以外の人数に営業日数と旅客鉄道での排出原単位を乗じて算出				1,099	1,187
カテゴリ 8	リース資産(上流)	スコープ 1, 2 で算定済				0	0
カテゴリ 9	輸送・流通（下流）	省エネ法の特定荷主の算定方法に基づき算定				1,453	1,365
カテゴリ 1 2	販売した製品の廃棄					30,577	26,504
カテゴリ 1 5	投資	株式保有株数により算定				1,975	1,409
CO ₂ 総排出量 合計						101,608	103,208

※スコープ 3 における排出量は、2019 年度から算出。

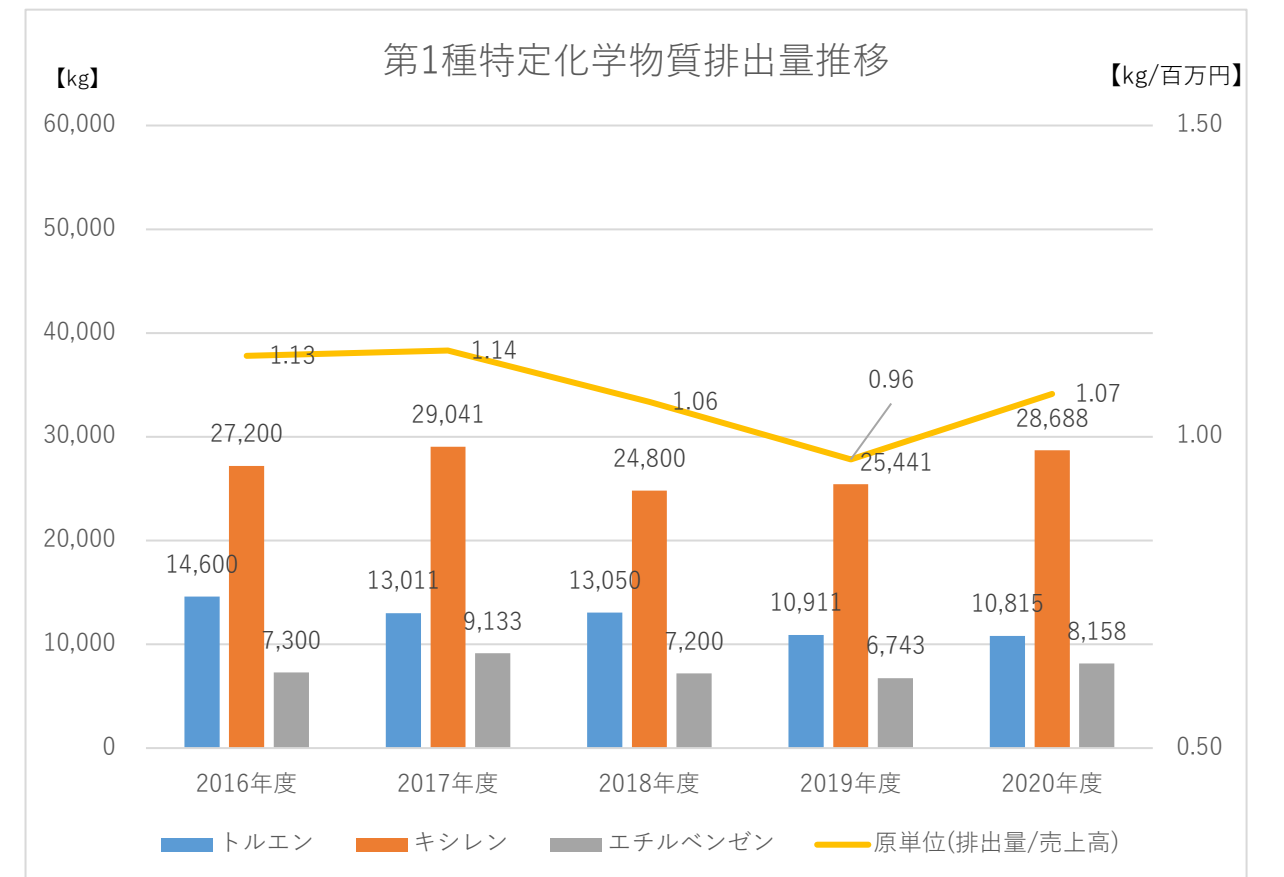
■ エネルギー使用量

	単位	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
		使用量	GJ換算	使用量	GJ換算	使用量	GJ換算	使用量	GJ換算	使用量	GJ換算
ガソリン	kl	40	1,384	41	1,419	39	1,349	37	1,280	39	1,349
灯油	kl	39	1,431	45	1,652	37	1,358	44	1,615	38	1,395
軽油	kl	347	13,082	369	13,911	376	14,175	415	15,646	407	15,344
A重油	kl	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C重油	kl	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
LPG	t	321	16,307	334	16,967	312	15,850	345	17,526	326	16,561
都市ガス	千m3	945	42,525	937	42,167	966	43,472	957	43,067	906	40,772
電力	千kwh	19,628	193,990	20,024	197,839	20,434	201,840	19,956	197,094	19,694	194,541
合計			268,719		273,955		278,044		276,228		269,962



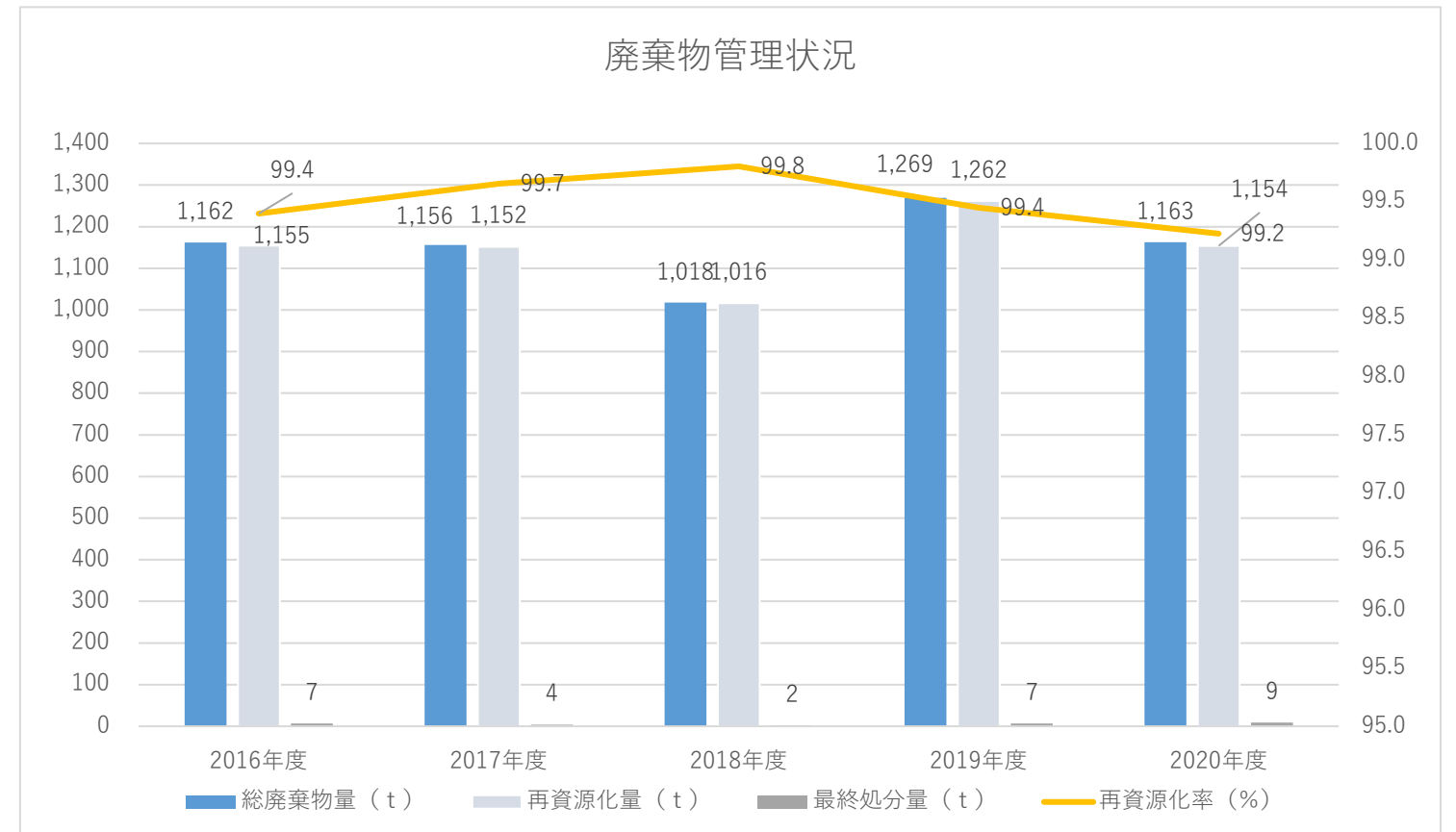
■ 第1種特定化学物質排出量

排出量【kg】	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
トルエン	14,600	13,011	13,050	10,911	10,815
キシレン	27,200	29,041	24,800	25,441	28,688
エチルベンゼン	7,300	9,133	7,200	6,743	8,158
原単位(排出量/売上高)	1.13	1.14	1.06	0.96	1.07



■ 廃棄物管理状況

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
総廃棄物量 (t)	1,162	1,156	1,018	1,269	1,163
再資源化量 (t)	1,155	1,152	1,016	1,262	1,154
最終処分量 (t)	7	4	2	7	9
再資源化率 (%)	99.4	99.7	99.8	99.4	99.2



■ 太陽光発電量

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
福岡工場 (1.5MW 規模) 【kWh】	1,997,890	2,012,120	1,908,170	1,722,740	1,789,776
旧東北工場 (1.5MW 規模) 【kWh】	2,244,314	2,287,990	2,218,019	2,347,819	2,166,445
音羽事業所 (0.35MW 規模) 【kWh】	527,839	544,588	525,965	520,697	521,956
合計	4,770,043	4,844,698	4,652,154	4,591,256	4,478,177

■ 環境会計

環境保全への取り組みを効率的にかつ効果的に推進することを目的として、事業活動における環境保全コストのためのコスト及び効果を把握し、環境省発行の「環境会計ガイドライン」に沿って環境コストと環境効果を集計しています。

集計範囲：極東開発工業株式会社

対象期間：2020年4月1日～2021年3月31日

【環境保全コスト】

【単位：百万円】

コスト分類	主な取り組みの内容	2019年度実績		2020年度実績		前年比増減	
		投資額	費用	投資額	費用	投資額	費用
(1) 事業エリア内コスト		56	74	75	76	19	2
	①公害防止コスト	0	14	0	12	0	△2
	②地球環境保全コスト	56	0	75	0	19	0
	③資源循環コスト	0	60	0	64	0	4
(2) 上・下流コスト	グリーン調達、リサイクルなど	0	0	0	0	0	0
(3) 管理活動コスト	ISO 関連費用、教育	0	3	0	4	0	1
(5) 社会活動コスト	自然保護、緑化、環境団体への寄付、支援	0	4	0	2	0	△2
(6) 環境損傷対応コスト	環境汚染の修復費用	0	0	0	0	0	0
合計		56	81	75	82	19	1

※なお、上記費用には人件費及び減価償却費は含んでいません。

【環境保全効果】

➤ 費用削減効果

【単位：百万円】

分類	項目	効果
収益	廃棄物のリサイクルに伴う収益	68
費用節減 ^{※1}	エネルギー費用の削減	50
	廃棄物処理費用の削減	△4
	水購入料削減	3

※1. 対象年実績と前年実績の差を「効果」として算出。

※2. △マイナスは金額が増加したことを示しています。

➤ 環境保全効果（物量効果）

分類		2019年度	2020年度	環境保全効果
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量（GJ）	276,228	269,961	△6,267
	水資源投入量（千m ³ ）	174	166	△8
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	15,029	13,751	△1,278
	廃棄物総発生量（t）	1,269	1,163	△106
	廃棄物最終処分量（t）	7	9	2